市議会9月定例会が開会

市長提案説明要旨

市議会9月定例会は、9月6日に招集され、9月21日までの会期で開催されました。定例会初日に行われた市長提案説明の要旨をお伝えします。

二ツ井町との合併

7月1日に第8回、8月23日に第9回と合併協議会が開催され、地方税の取り扱い、環境対策事業、建設関係事業、新能代市行政組織、地域自治区の設置に関する協議書について報告、了承されました。また、8月末を期限に募集していました新能代市の市章デザインについては、1403点の応募がありました。9月12日に選考委員会を開催し、市章候補作品5点を選考することとしています。

アスベスト問題

市では、相談窓口を設置するとともに、学校、保育所など398のすべての施設で使用実態調査を行いました。

施設での使用実態調査の結果、文化会館や終末処理場など4施設でアスベストが含まれているか不明な吹付けロックウールの使用が確認されましたので、分析調査を依頼しています。そのほか、家庭から一般廃棄物として排出されるアスベストについては、市が戸別収集して埋め立て処理することとし、準備が整い次第実施します。

まちづくりについて

8月9日に、(仮称)東能代地域まちづくり連絡協議会立ち上げのための準備会が開催されました。住民主体の協働のまちづくりに取り組んでいくことで合意し、機織地区、鰄渕地区、道地地区、扇田地区の代表者が集まり、望ましい組織体制や取り組むテーマの検討を行っています。今後、準備会を重ね、(仮称)東能代地域まちづくり連絡協議会の立ち上げを目指しています。

8月19日、「能代まちづくり市民会議」が、より広範な市民各層の参画を得て、まちづくりをバックアップする組織として設立されました。

市としては、市民の自発的な活動を大切にし、市民と積極的に意見を交わしながら協働と納得のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

能代港の利活用を促進

8月8日、能代港湾振興会の設立総会を開催しました。今後は県北地域が一体となって能代港の利活用を促進し、地域経済の振興を図ろうとするものです。有益で実効性のある事業展開を図っていきたいと考えています。

国勢調査

国勢調査が10月1日を基準日として全国一斉に実施されます。調査の結果は、国および地方自治体の各種行政施策の基礎資料となります。市民の皆様にも調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

介護保険法改正

在宅と施設の利用者負担の公平性を図るため、介護保険法が改正され、17年10月から居住費および食費が保険給付の対象外とされます。市が設置しているデイサービスセンターでは、1食あたり390円を利用者から負担していただくこととしています。

能代産廃問題

7月19日、処理水放流管が自動車事故により一部破損しました。処理水の一部が農業用の用排水路に流出したため、県では処置を行うとともに、水質調査を行いましたが水質に異常はなく、7月28日には修理を終え、29日から処理水放流を再開しているとのことです。また、地元住民団体と市の立ち会いのもと、処分場調査が行われました。調査は8月中旬で終了、調査結果は10月までに取りまとめるとのことです。市としては、環境対策協議会で地元住民の皆様とともに十分協議、検討してまいります。

能代宇宙イベント

8月10日、浅内鉱さい堆積場跡地を会場に開催されました。東海大学をはじめ11の大学などから学生約140人が参加し、ハイブリットロケットの打ち上げ、カムバックコンペなどの競技が行われ、子供たちによるモデルロケット打ち上げ体験なども行われました。イベントを通じ、能代のPRや新たな交流の基盤ができたとともに、参加した子供たちにとっても宇宙への夢を育むよい機会になったと考えています。能代宇宙イベント協議会では来年度以降も開催したいとの考えですので、市としても協力をしていきたいと考えています。

ハイブリットロケット打ち上げ成功
（能代宇宙イベント）